職業は農業です

「僕の中には反骨魂があるんです

だと説明する。 い形で消費者に知ってもらうこと 農場の取り組みをさまざまな楽し ること、「観せる」とはこれら長谷川 しさを伝え、新規就農者を育成す 日本の農業技術の素晴らしさと楽 る」は味や品質で消費者を魅了し きるよう情報を開示し安全・安心 性を活かし、消費者が安心、納得で 長谷川さん流「見せる」とは地域特 業」を経営の柱に置いていることだ。 などで、特徴は「見せる」「魅せる」 育に水稲、大麦、アスパラガス生産 真っすぐにこちらの目を見て語る。 目っ気を込めた言い方ながらも、 な農畜産物を生産すること、「魅せ 「観せる」という「三つのみせる農 長谷川さんが「三つのみせる農 長谷川さんの経営は、肉用牛肥 長谷川良光さん(六〇歳)は、茶 -。あまのじゃくなのかも_



理由がある。

長谷川さんの実家は四〇四のイ

業」にこだわり実践しているのには

農したときに漠然とした劣等感を 八一年、長谷川さんは家を継いで就 育も行う複合経営農家だった。一九 チゴ栽培がベースで、牛二○頭の肥

経営紹介

牛ふん堆肥活用し地域循環型農業 反骨の「見せる」「魅せる」「観せる」



めには多くの人たちが憧れるくら

多くの人に知ってもらおう。そのた ることをやっているということを

いの農業の形をこの地で作り上げ

栃木県足利市

株式会社 長谷川農場

代表取締役 長谷川 良光

法人設立●2016年

資本金●300万円

売上高●約3・6億円

であり、やりがいのある素晴らしい

の評価とは別にとても大切な産業 に取り組んでみると、農業が世の中

職業だという考えが次第に大きく

なっていった。

長谷川さんは「農業者が価値

事業内容●肉用牛生産 (F1肥育牛700頭)、米、畑各1¾、 アスパラガス、タマネギ各1.2%、

従業員●正社員6人、パート社員季節により3~12人

ところが長谷川さんがいざ、家業

URL http://hasegawa-noujou.jp/

牛ふん堆肥は大切な資源

と湧き上がってきたのです」と当時 るのだと反骨魂が自分の中に沸々

のことを語る。

九二年のことだ。 業づくりへの挑戦が始まった。一九 こうして長谷川さんの新しい農

を利用し、稲わらは肥育牛に給餌 に増やし、併せて、機械化が可能な の牛舎を建て肥育頭数を三〇〇頭 二条大麦・米の生産に取り組んだ。 畑では牛ふんを熟成させた堆肥 まず規模拡大が必要と一六〇頭 る世間の風潮の中で「当時、

、私自身、

つい、危険、きたない)などと言われ 感じていたという。農業が三K

て言うことができなかった」と振

『職業は農業です』って自信を持っ

取り組んだ。 する循環型農業を基本としながら

う。長谷川さんは「うちの大切な資 大を図り、人を雇っていく。 供し稲わらをもらうことで規模拡 り、自社利用のほか、地域農家に提 源」と表現するほど大切にしてお するためふかふかの土になるとい り有効微生物が土の有機物を分解 牛ふん堆肥は土壌改良効果があ

JAアスパラ部会ができるほどに 域にもアスパラを広げ一〇年には 定化が実現した。長谷川さんは地 たり四〇〇万円にもなり雇用の安 げかアスパラは二年目で一○≦当 めて取り組んだ品目だったが、牛ふ ラガスの生産を開始する。地域で初 繁忙期が耕種と重ならないアスパ もらえるように仕事を増やそうと、 ん堆肥をたっぷり入れた土のおか 二〇〇四年、年間を通じて働いて

ものができる。 であり日照率が高いため高品質な 地域は、全国でも有数の麦の生産地 商品にする菓子製造・販売会社 麦を利用したダクワーズをメイン 「大麦工房ロア」に卸している。足利 また、二条大麦は足利市内で大

したいとかねがね考えており、「大 長谷川さんは地元の産業に貢献

> ワーズをつくっている点で考えが 麦工房ロア」の経営者と栃木県足 産一○○%の二条大麦でダク

実施する。 も開催している。麦秋の季節には からグリーンツーリズムイベント 畜舎見学や田植え、稲刈り体験も し麦畑を歩く「麦秋ウォーキング」。 大麦を使ったお弁当や麦茶を用意 「観せる」事業として約二〇年前

異業種連携でブランド牛

に六次産業化の展開を図った。 をしてきた長谷川さんだったが、次 このように、多方面にチャレンジ

混ぜ乳酸発酵させた飼料を牛に与 から、マールに大麦ぬかやふすまを が豊富に含まれている。そこで同年 肉質や色みを良くするビタミンE ウの搾りかす)の再利用について相 ナリー (足利市)からマール(ブド する有限会社ココ・ファーム・ワイ 畑でブドウを栽培し、ワインを醸造 えはじめた。牛も喜んで食べてくれ 談を受けた。調べれば、マールには 二〇一二年、山の斜面を開墾した

牛枝肉共励会交雑種部門で最優秀 牛の足利マール牛は同年の全農肉 一三年七月、足利市初のブランド

> ジューシーな甘みが広がるため赤 身のおいしさが楽しめるという。 質は和牛に比べて噛み応えがあり 賞に輝いた。長谷川さんによると肉 さらに、足利マール牛によって地

房ロアに加え、足利銀行などによる 社つちのかは、長谷川さんと大麦工 域に消費者を呼び込もうと一四年、 「とちまる 6次産業化成長応援ファ オープンさせる。運営会社の株式会 「ファーマーズカフェ・つちのか」を

売している。 ファーム・ワイナリーのワインも販 をはじめ採れたて野菜やココ 用したパンやパスタなど各種料理 ローストビーフやカレー、大麦を伸 く訪れる。足利マール牛を使用した 売所の隣にあり、団体客などが多 が提供され、長谷川農場のアスパラ カフェは、大麦工房ロアの工場直

農業に若者を呼び込む

とを目指しており、需要に応じられ 供するレストランなどを増やすこ に足を運んでくれる人が増えたら いい」と長谷川さんは考えている。 ら農畜産加工品を目当てに、この地 マール牛です。足利マール牛やこれ 今後、足利での足利マール牛を提 「足利で食べてもらってこそ足利

ンド」から出資を受けた。

るように、昨年、七○○頭に増頭し 「三つのみせる農業経営」が軌

う気持ちが芽生えたという。さらに ずっと「農業はやらない」と言って ではないだろうか。補助金だって大 は後ろめたい思いをもっているの やゆするような傾向があり農業者 らの取り組みを見て、やりたいとい が後継者として経営に参加した。 れしいことに二〇一二年には、息子 業承継が大きな課題であったが、う 業者は堂々としていればいい」 切な産業だからこそ出るんです。農 ぶやく。「補助金漬けなどと農業を がつくれたかな」と長谷川さんはつ る若者も現れ始めた。「憧れる農業 長谷川農場で働きたいと来てくれ いたが、父である長谷川さんのこれ に乗った長谷川さんにとっては、事

すでに長谷川さんの中で描かれつ す。そこに行って、もうかる農業を さんは「栃木県内には耕作放棄地に 要な産業だからね」と教えてくれた 性化に貢献したい。農業はとても重 実践して、若い人を呼び込むなど活 なってしまっているエリアがありま 耕作放棄地活性化へのマップは 今後の取り組みについて長谷川

(情報企画部 城間 つあるようだ。

西辻一真さん

株式会社マイファーム 代表取締役京都府

耕作放棄地活用し体験農園や農業学校も食料の「自産自消」社会の仕組み化目指す

指す。 お作放棄地を借り受け、都市生活 財作放棄地を借り受け、都市生活 が作る「自産自消」システムを社会 がで作る「自産自消」システムを社会 に定着させたいと農業ベンチャーを に定着させたいと農業ベンチャーを で業リーダーらの支援で再生。今は 中山間地域における独自の新たな 中山間地域における独自の新たな 中山間地域における独自の新たな が、志に共鳴する は業リーダーらの支援で再生。 が、本に共鳴する が、書に共鳴する は、都市生活

当初は試行錯誤の連続

西辻 私は福井県出身で、実家の周的にアピールされている点は興味深的にアピールされている点は興味深いですね。

辺はどこでも自宅裏の敷地で自分た西辻 私は福井県出身で、実家の周

産自消は自然な考え方です。ちの食べる野菜を作っていたので、自

私は食料の自給率向上とも絡めて、私は食料の自給率向上とも絡めて、

――と言いますと?

西辻 農業人口の高齢化で増え続ける耕作放棄地を何とか活用し農業を再生できないかと考えたこと、大学時再生できないかと考えたこと、大学時中生できないかと考えたこと、大学時で受け、食料自給率を高める必要性を受け、食料自給率を高める必要性を強く感じたこと、そんなときに都市を強く感じたこと、そんなときに都市を強く感じたこと、そんなときに都市を強く感じたこと、そんなときに都市を強く感じたこと、そんなときに都市を強く感じたこと、そんなときに都市を強く感じたこと、そんなときにある。

一一それが株式会社マイファームの 一一それが株式会社マイファームの 起業に至ったきっかけですか。 たが棄地を活用するサービスができ ないだろうか、そして卒業後はその道 ないだろうか、そして卒業後はその道 ないだろうか、と考えたのです。でも、い で当みたい、と考えたのです。でも、い でがで、大変苦労をしました。

西辻 体験農園のニーズなどをマー たっト調査したら手応えがあり、ビジケット調査したら手応えがあり、ビジネスにするのは可能だと思いました。 しかし、全国に点在する耕作放棄 地のうち、体験農園に適した都市近 郊の農地の確保が大変だったり、また それらを借り受けるには農業関係者 それらを借り受けるには農業関係者

ファームの した。 いざ取り組んでみたら苦闘の連続で

人的パイプで事態打開

西辻 農協や行政などとのネットワークづ くりの重要性を学びました。 との出会いです。谷さんは大変な理解 ファームの副社長である谷則男さん ほとんど応じてくれませんでした。 り受けを飛び込み営業したのですが、 の農家に半年かけて、耕作放棄地の借 ファームの最初の壁ですか。 れました。そのおかげで道筋がついた 者であり、農家との橋渡し役をしてく ―二〇〇七年に立ち上げたマイ です。若者の情熱だけでは難しく、 - どのように打開したのですか。 農協との関係が深く、今はマイ 京都、大阪、兵庫など三〇〇軒

りにくかった?

にしつじ かずま

年から内閣府国家戦略特区農業特区委員も歴任 で克服。一〇年から農林水産省政策審議委員、一四 業アカデミーなどを立ち上げる。東日本大震災で 七年に株式会社マイファームを設立。体験農園、農 大学農学部卒業。全国の耕作放棄地を何とかした いとの想いから食料の「自産自消」理念を掲げ、〇 時、経営危機に陥るが、持ち前のバイタリティー 九八二年福井県生まれ。三六歳。二〇〇六年京都

株式会社マイファーム 日常化のニコース。グループ企業㈱マイファー 年半で農業専門家育成の産業化、農業を楽しむ イファームを軸にアグリイノベーション大学校 七年創業。資本金一億七二〇〇万円。体験農園マ 京都市に本社。西辻一真代表取締役社長。二〇〇 農園は全国一一〇カ所、農業大学校の期間は一 八百屋マイファーマーを事業経営。主力の体験

は中山間地域で事業化。年商八億円、社員三六人

わせが増え、〇八年九月には全区画が ことを宣伝するうちに次第に問い合

ムオリジン、㈱マイハニー、㈱エコマイファーム

西辻 ため、手ぶら・週一回での作業OKな りができることや、農機具を用意した で開墾しました。 棄地の開墾は大変だった? メリット、特に有機無農薬での野菜作 不安でしたが、体験農園、市民農園の 号です。広さは一〇〇〇平方景あり、 区画一五平方景で五〇区画を必死 スタート当初は希望者が少なくて 京都の久御山にある農地が第

-真社長

新たに取り組む農業の産業化など将来経営を本社で語る西辻-

のです。

震災時に債務超過危機

模索していたときに、宮城県岩沼市の で支援できるのではないかと思った 津波被害現場を見て、土壌改良など あり、震災後、何か支援できないかと を目指すセミナーで話をする機会が 西辻 震災直前、仙台市で独立・起業 マト生産にも取り組んだとかっ 東日本大震災の津波被災地でト

トマトの試験栽培を行ったところ、「復 す。そこで畑の土壌改良を繰り返し、 た自然由来の土壌改良剤をまいたら、 西辻 被害を受けた畑に独自開発し 言われていましたよね。 カ月で土の塩分濃度が下がったので - 塩害農地復旧には三年かかると スモデルに? 軌道に乗った後はどんなビジネ 体験農園第一号となった耕作放

埋まりました。

取り組んでいます。 ました。いずれも専門家の応援を得て プロ農業者を養成するためのアグリ 営を学び、中山間地域における将来の のマイファームアカデミーや、農業経 速に増え、現在、全国に一一〇カ所あ イノベーション大学校などを創設し ります。これをベースに週末農業学校 西辻 私たちの体験農園はその後急

に天国と地獄でしたね。 復興トマトの話と比べると、まさ

長を解任されました。本業の体験 つぎ込みすぎだ、との理由でした。 園ビジネスが危機なのに、震災復興に 経営者としての私の資質が問われ 解任は厳しいですね。 その頃、マイファーム役員会で 社

れました。 の土壌改良の技術力も大いに評

は資本金が一億七二〇〇万円と巨 なのは驚きですね。 – ところで農業ベンチャーにして

す。ショックでした。 園の契約キャンセルが相次いだので 西辻 実は一時経営危機に陥った時 ムードが高まったため、私たち体験農 農園どころではないだろう、と自粛 で日本全国が混乱している時に体験 かという風評懸念が出たことや、震災 業現場に放射能が飛散するのでない す。震災時の原発事故で首都圏の農 に支援を要請して増資できた結果で

円赤字を計上し債務超過に陥りまし 西辻 そのあおりで一億一〇〇〇万 それは予期せざる事態ですね。

た後も一社員として再建に向け必死 責任を取るのは当然で、私は解任され 債務超過に至った経営の結果

興トマト」と話題になり、マイファーム

で動きました。

らず六〇〇〇万円ほどの連帯保証債 身は取締役の座を降りたにもかかわ れず、会社整理も覚悟しました。私自 んな対応をされたのですか。 当時、金融機関の支援も得ら

・現実問題として、再生に向け、ど

務がありました。正念場でした。

私も必死で動き回りました。 あとは信頼回復だけだ」と激励され モデルは間違っていないので頑張れ。 んから、「震災さえなければ、ビジネス 式会社代表取締役社長の山口一彦さ (イスをいただいたベルグアース株 そんなとき、谷さんと、経営にアド

企業経営者の支援で再生

う」と支援してくださったのです。 営者の方々が「再生に向け応援しよ に発言していたら、同じ委員の企業経 プラスに働いたのです。会議で積極的 審議委員に名前を連ねていたことも 評価対象になり、農林水産省の政策 ベンチャーとしての私の取り組みが 西辻 まだ運が残っていました。農業 資金確保は大変だったのでは? 中でも、株式会社リクルート元会長 -とはいえ債務超過額に相当する

> 円の資金を個人融資していただいた されたのですね。 をしっかり持つことの重要性を実感 した。感謝の気持ちでいっぱいです。 渡されましたが、おかげで再生できま に亡くなられ、株式の形で第三者に譲 のです。江副さんは不幸にも三カ月後 一改めて、人脈の重要性、それに志

のは? 西迁 いうことですね。農業の産業化という にして農業に愛着を持ってもらうと を通じて「自産自消」を社会の仕組み 業化」の二つを経営課題にしました。 痛感し、「農業の日常化」と「農業の産 して、経営基盤を広げておく必要性を ましたが、震災時の経営危機を教訓と 験農園ビジネスは、その後も力を注ぎ した。耕作放棄地の活用を兼ねた体 農業の日常化は、体験農園など その通りです。必死で頑張りま

西辻 で年商三八〇〇万円になりました。 式会社マイハニーの蜂蜜販売は二年 ロジェクト会社として立ち上げた株 要なレンゲ栽培に取り組みました。プ プロジェクトの発足、およびそれに必 り、兵庫県養父市の特区における養蜂 略特区に私が関わっていたこともあ とです。そこで、政府が勧める国家戦 て産業としての基盤づくりをするこ 地域でもうかる農業の実例をつくっ 耕作放棄地が集中する中山 間

ただき、それを頼りに支援を仰いだら とがあったら来い」というお言葉をい の江副浩正さん(故人)から「困ったこ

「志を共有するので頑張れ」と数千万

ブルにはなりません。 源をつくるため既存の業者とのトラ がレンゲを栽培することで、新たな蜜 になることで関係機関の支援が得ら けられてはいないものの、特区事業者 す。養蜂振興法自体は特区制度が設 振興法に基づいて調整を図っていま 者同士でのトラブル防止のため、養蜂 い中山間地域の耕作放棄地で私たち れるので参入しやすいのと、借料が安 養蜂業界では蜜源植物をめぐる業

中山間地域でもうかる農業を実現す かした取り組みを始めました。 業者の資格を取得しており、それを活 ることです。二〇一二年に私は認定農 でも、私にとってのチャレンジは、

中山間地域で農業の産業化

魅力です。ある意味、「隙間ビジネス」 計画中です。蚕からシルクプロテイン す。さらに、養蚕やダチョウの飼育も 黒毛和牛の繁殖経営も手掛けていま フェを経営する株式会社マイファー の平飼い卵と加工品を販売し、農家カ るためで、いずれも利益率が高いのが ギーを抑える抗体をそれぞれ抽出す を、またダチョウからは花粉症アレル ムオリジンを立ち上げました。また、 の耕作放棄地を借り受け、直営農場 一どんなチャレンジを? 福井県の中山間地域で三鈴弱

> ジェクト展開すれば、農業の産業化は 中山間地域の自然を活かしてプロ と言ってもいいでしょう。このように 十分に可能です。

すね。 業的な経営手法でやれば、中山間 域でも農業の産業化は十分に可能で 一これまでの個人経営ではなく、 企 地

西辻 り、コンサルティングをしています。 も技術支援の依頼や問い合わせがあ りがたいことに中国やブータンから 見えてきていますね。 たちの強みにして活用しています。あ れた土壌改良や土づくりの技術を私 教訓が活かされ、新たな活動展開が 震災での思いがけない経営危機 そう思います。震災で証明

す。 クラムを組んでいこう、ということで 飛躍させるには、みんなで意欲的にス 感しています。私たちの事業をさらに 行け」というアフリカのことわざに共 で行け、遠くへ行きたいならみんなで 変えました。「早く行きたいなら一人 あの危機以来、私は考え方を

業ベンチャーとしてチャレンジし続 に株式市場への上場も計画中です。農 などにアドバイスをいただき、二○年 ベルグアース株式会社の山 口さん

(経済ジャーナリスト 牧野 義司)